

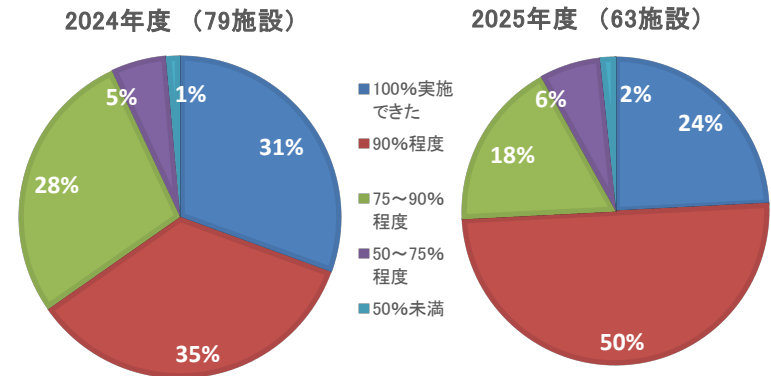
【2024年度・2025年度】 薬学実務実習 学生アンケートの結果について

2026年 1月10日(土)

実務実習委員会 委員長
石川 和宏

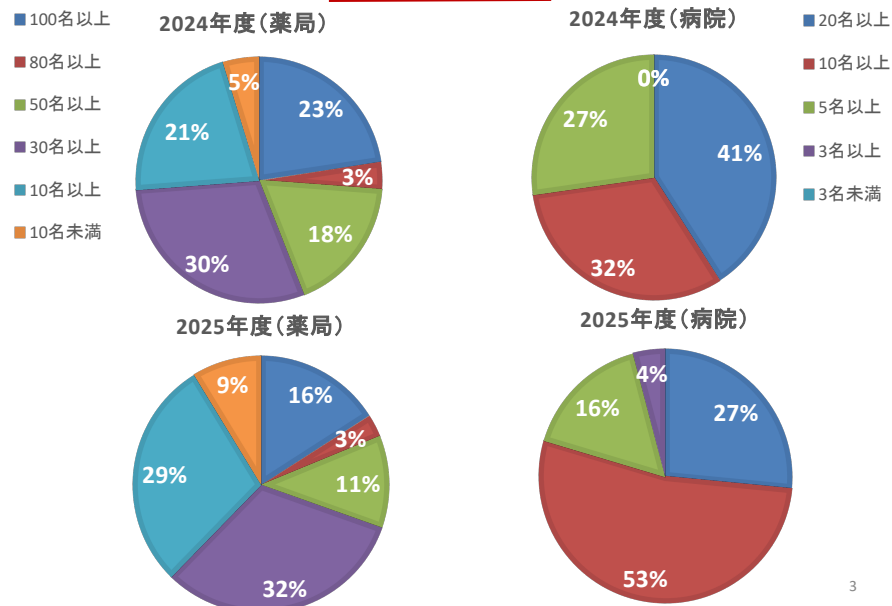


スケジュール・カリキュラムの実施状況(施設)



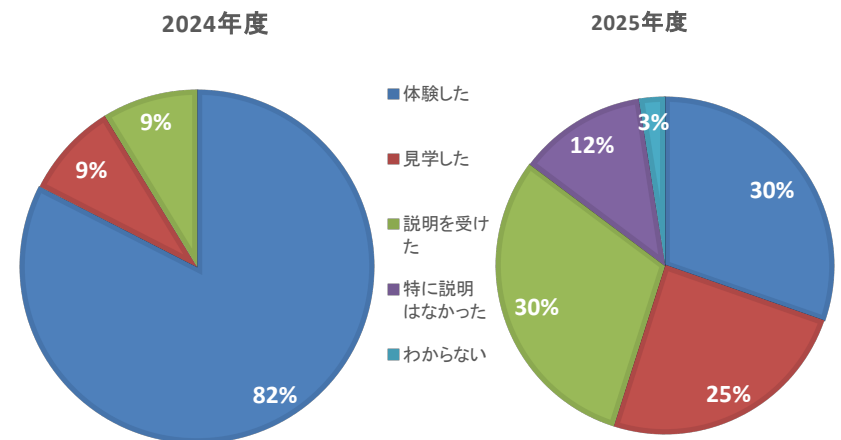
2

服薬指導



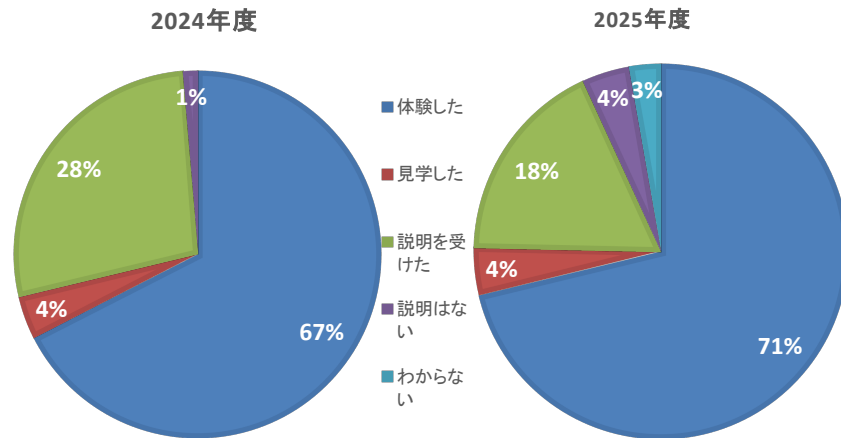
3

在宅・介護に関する実習



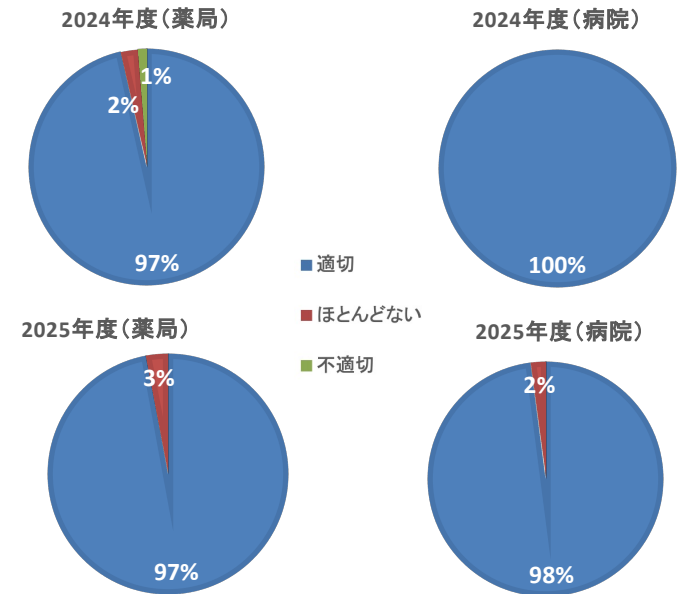
4

学校薬剤師



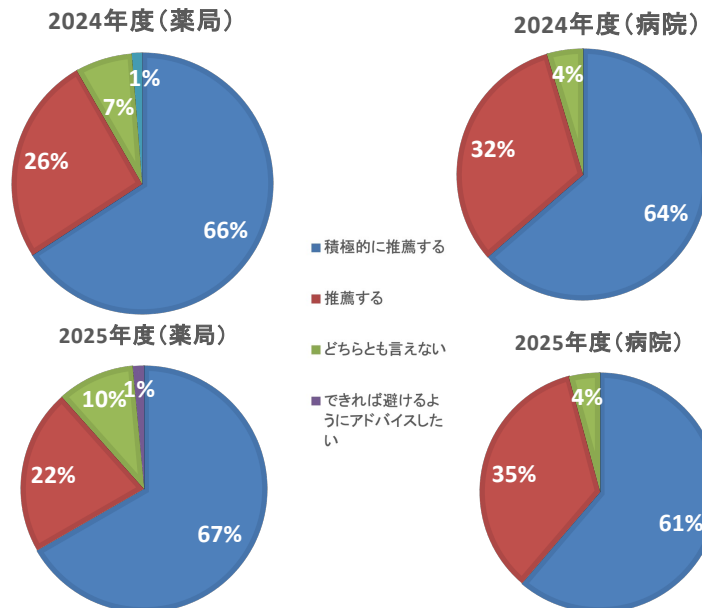
5

フィードバック



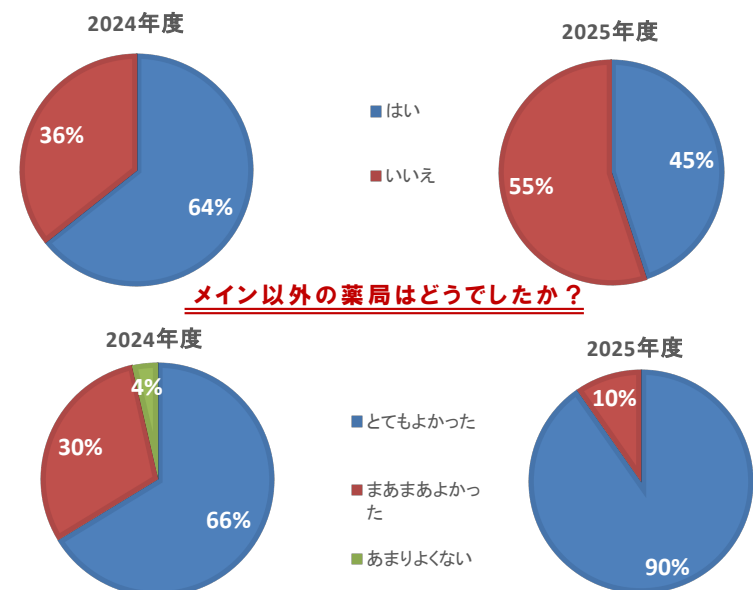
6

あなたは今回実習を行なった施設を後輩に推薦しますか？



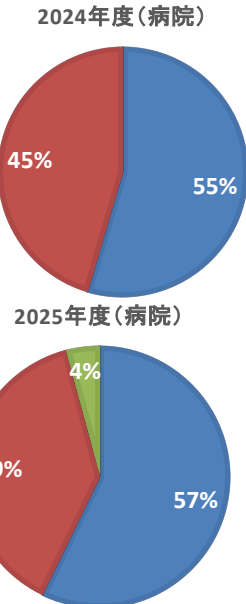
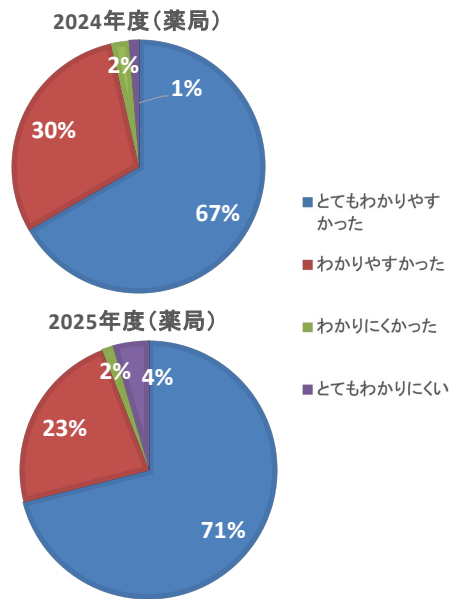
7

実習期間中にメインの施設以外の薬局で実習しましたか？



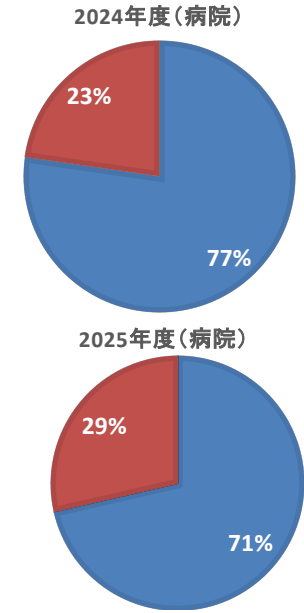
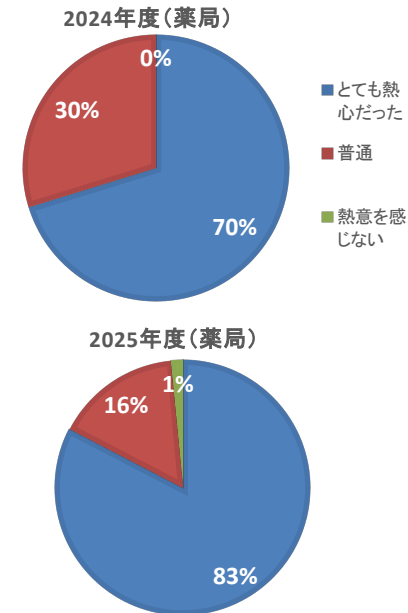
8

指導薬剤師の先生の御指導はどうでしたか？～わかりやすさ～



9

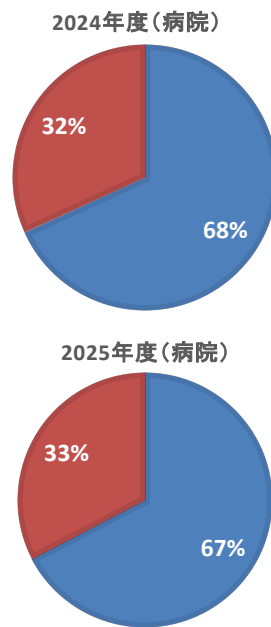
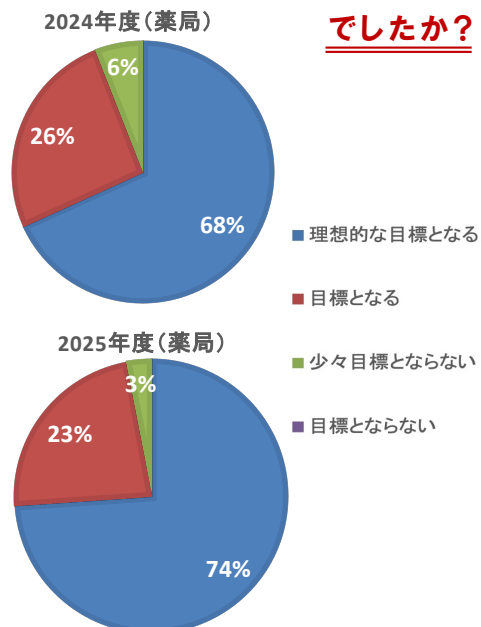
指導薬剤師の先生の御指導はどうでしたか？～熱意～



10

指導薬剤師の先生は『薬剤師』としてあなたの目標となる方

でしたか？



11

《薬局実習》

理想的な目標となる

- 薬剤師としての知識量が膨大だけでなく、生活や食事、運動などに関する知識量も豊富。患者さんからの相談に対して何でも応えられていた姿を尊敬します。また、服薬指導を行う際の情報の聞き方がうまく、とても参考になった。
- 患者さんとの関わり方はもちろん、こちらに至らないことがあった際、どのようなことが原因として考えられるか、どのような対策を行えば良いかをわかりやすく具体例とともに説明していただけたことから、人との接し方に対し理想的だと感じた。
- 患者さんや施設職員に寄り添う姿勢が見受けられ、患者さんも指導薬剤師との会話を楽しんでいる場面を何度も見かけた。コミュニケーション能力が特に高く理想的に感じた。
- 患者さんの名前を言うだけで情報が出てきて、沢山の患者さんを抱えているとともにしっかり一人一人に向き合っていると感じた。

少し目標とならない

- 人間として大事な部分が欠けていると感じた。実習中の会話は業務に必要な範囲にとどまっており、コミュニケーションの機会が少なかったため、良好な関係性を築くのが難しいと感じてしまった。
- 基本、医療に否定的であるとのこと。また、経験があるからこそ、ガイドラインには書かれていても、実際にはそんな服用の仕方はしないと否定的であった。

12

《病院実習》

理想的な目標となる

- 患者さんとの関わり方や、他職種とのコミュニケーションについて、信頼されるものであると強く感じた。また、自己研鑽の意識や効率よく仕事を行うことなどが尊敬できた。
- 私が目標として掲げていた「患者さんをみる」ことを意識した、処方 of 適正化や薬歴・患者情報を参照した調剤、患者さんとの適切なコミュニケーション、多職種連携を臨機応変に対応されていた。またこれらの目標において必要な能力が身に付くよう学びの場を多く提供していただき、積極的に患者さんと接する機会もいただけたことで幅広く経験を積むことができた。
- 多くの先生方からご指導いただき、知識量や現場の状況を見て動く判断力などに驚き、自分に不足している能力を実感した。
- 患者さんやチームのために何ができるか常に考えていたところ。

少し目標とならない

- 特になし。



ご清聴ありがとうございました

